

「令和2年の始まりに向けて」

札幌支部副支部長 成田眞利子

会員の皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

監察広報部担当副支部長の成田眞利子でございます。

昨年 of 支部運営に関しての会員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

令和の時代が始まった昨年はいろいろなことがありました。自然災害が全国各地で多発して甚大な被害がありました。世界的な様々な環境変化が日常生活に大きな変化をもたらした年でありました。

監察広報部は、越智部長を中心に吉田副部長他の理事の協力体制の充実を図りつつ支部会報「さっぽろ支部だより コスモスサプリ」の発行を行い、会員に役立つ情報の提供に努めております。業務に有効な行政機関等の最新情報を限られた紙面に的確に掲載する為、担当理事は毎号において工夫を重ねております。会員の皆様からのご意見が更に良い紙面づくりに役立ちますので、是非ご感想等をお寄せください。

昨年の広報月間における社会貢献活動としては、札幌支部事務局前とSTV放送局前の歩道にて交通安全の旗振りを行い、アクセスサッポロ（白石区流通センター）での「いきいき健康・福祉フェア」に参加して、一般社団法人北海道成年後見支援センターと共同で「相続ブース」を開設しました。ステージにおいては札幌法務局人権擁護部と共同の寸劇を実施しました。ラジオCMでも10日間に亘り行政書士の仕事のPRを行いました。

例年、札幌支部理事による関係行政機関等への訪問を通じて、行政書士の周知活動も行っております。

2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs」(持続可能な開発目標)では、「誰一人置き去りにしない」を合言葉にして各国政府や、NGO、民間企業、市民、みんなで17の目標に向かい2030年までの達成を目指しています。各人が出来ることをしっかり検討して、行動に進めていくことが求められています。

我々行政書士も社会的貢献活動を通じて周知を図りながら、同時にSDGsに向けた具体的な活動を開始する時期に来ているのかもしれない。

今年も札幌支部会員の皆様のご理解とご協力、更に充実した活動を進めて参りますので、ご指導とご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。